

卒業生は今

●●● MAILBOX

鳴原 麻衣子

史学科 2008年卒



私は現在、東急電鉄の田園都市線で車掌をしています。主に、電車内でのアナウンスや、ドアの開閉操作、車内の空調管理等を行っています。

史学科を卒業してからしばらく経ちますが、現在でも歴史に興味があり、特に職業柄、鉄道の歴史の本はよく読んでいます。そのおかげか、ご高齢のお客さまに、新玉川線（現・田園都市線の一部）について聞かれた際は、役に立ちました。

車掌の仕事は、お客さまの命をお預かりする仕事なので厳しい面もありますが、お客さまからアナウンスにお褒めの言葉をいただいたり、小さなお子さまに手を振ってもらえたりすると、やり甲斐を感じます。

一昨年には、社内で開催されたアナウンスコンクールで賞を受賞し、金色の名札を頂きました。しかし、昨年からは、人身事故に三度も遭遇し、自分の未熟さを痛感しました。

まだまだ車掌として未熟者ではありますが、仕事のいろはを教えていただいた師匠のようなベテラン車掌になれるよう、これからも頑張っていきたいと思っています。

金山 真理絵

幼児教育学科 2008年卒



幼稚園の頃、担任をしてくださった先生に憧れ大学四年間を幼児教育学科で学び、現在は築地本願寺・江東学園幼稚園で六年間勤めさせていただいております。幼稚園では感謝の気持ちや相手を思いやる気持ちを大切に出来るよう子ども達と関わっております。子どもに教える事ばかりではなく、様々な行事等を通して成長していく子ども達から学ぶことも沢山あり、毎日が勉強の日々です。又、今でもゼミの森田先生よりご指導いただきダンカンダンスの公演にも出演させていただきました。大学で学んだ幼児の体操指導の方法や幼い頃から習っていたクラシックバレエを生かし、これからも勉強を重ね子ども達の成長を見守り指導していきたいと思っています。

谷田川 郁佳

幼児教育学科 2013年卒



私は4月から渋谷区のこども園で1歳児の担任をしています。最初に1歳児の担任と伝えられた

ときは実習で数日しかかかわったことなかった年齢だったので戸惑いました。また関わり方や書類の書き方などわからないことだらけで毎日が嵐のように過ぎていきました。しかし今は先輩にわからないことはどんな小さな事でも質問し、少しずつ仕事もわかるようになり、毎日子ども達と楽しい日々を過ごしています。

実習で楽しかったこと、辛かったこと、学生団体ONEで活動したこと、ボランティアで運動会のお手伝いや保育園に行っていたことすべてが今の自分に繋がっていると思います。大学生活4年間はあっという間でした。友達と遊んで笑って、時には一緒に悩んで……。就職した今も時々集まって話をしています。勉強や活動に参加するだけではなく、友達とたくさん遊んで、たくさん笑って充実した学生生活でした。

菅谷 さつき

児童教育学科 2012年卒



今年度から新規採用で、1年生の担任になりました。在学中はダンスサークルに入りながら、ボランティア活動では、特別支援学校でダンスの講師をしたりと毎日が充実した日々でした。

児童教育学科では教科の模擬授業や教員採用試験の対策などを、先生方が全面的にバックアップをしてくれます。現在も大学で学んだ各教科の教育方法や発達心理などの知識を授業や学級経営に活かしています。教師は想像している以上に多くの仕事をかかえています。しかし、日々の忙しさを癒やしてくれるのは、やはり子ども達です。

これからも子ども達のために大学や現場で学んだことを活かして、精一杯頑張っていきます。

中本 菜月

社会教育学科 2011年卒



私は今、精神保健福祉士として精神科単科病院横浜丘の上病院の地域生活支援室（相談室）に勤務しています。業務内容は、医師や看護師などの他職種と連携を取りながら、受診・療養に関することや、退院支援として患者さん本人やご家族から様々な生活相談を受けています。また、院外の支援関係者とも連携を計ったり家庭に訪問することで、地域で患者さんが安心してその人らしい生活を送れるよう支援しています。3年目になり仕事に慣れてきたと

ころはありますが、まだまだ専門職としての関わり方や技術は未熟で、様々な相談が寄せられる慌ただしい日々には不安や悩みを持ちながら携わっているところです。これからも多くのことを学び、成長しながら支援をしていきたいと思っています。

相澤 麻菜未

観光文化学科 2008年卒



卒業後、一家ダイニングプロジェクトに就職して、飲食店の店長などを経験し、新店の立ち上げ準備をしている最中に、プライダル事業の開業スタッフをやらなかと声がかかりました。東京タワーの真下ともいえる立地に个性的な式場をオープンさせるという、会社でも初めての事業です。不安よりも好奇心が勝ち、2年前から、学生時代には考えもしなかった「ウェディングプランナー」としての人生が始まりました。新郎新婦の想いをくみ取りながら、「思い出に残る式や披露宴を」と日々頑張っています。披露宴中、列席者の前で新郎新婦からサプライズの花束を頂戴して嬉し泣きしたこともあり。人生の節目に立ち会い、感動に出会える仕事です。



黄鶴館（11号館）に飾る恒例のクリスマスツリー

編集後記

- 在学、卒業生、教員、職員が、皆、輝いている本学は、すばらしい。(K.K.)
- いろいろなニュースを集める仕事を楽しましました。(R.Y.)
- 深秋の構内の樹々の彩りを楽しめる幸せに感謝！(N.O.)

発行日／平成25年12月20日第35号発行
制作／川村学園女子大学広報委員会

花時計

No.35

川村学園女子大学

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸1133番地
Tel. 04-7183-0111(代) Fax. 04-7183-0115
ホームページ http://www.kgwu.ac.jp/



図書館を巡って

図書館長 川崎 恵里子



ERIKO KAWASAKI

学生時代から図書館とはなにかと縁がある。以前の住まいの建物の1階は小さいながらも区立図書館だった。現在も区立図書館の隣に住んでいる。実験心理学を専門にしていると、必要とする文献はもっぱら洋書や英文の専門誌である。私の恩師の学生時代には洋雑誌がどこにでもあるわけではなく、あったとしてもマイクロフィルムに保存されていた。それを小型のプロジェクターで壁に投影して読んだそうである。あるときフィルムを天井に写しだし、寝転んで読んでいたところ、うっかり眠ってしまってあやうく火事になることだったという。現在は簡単に安くコピーができるので、このような苦労はないが、コピーしただけで安心して読んだ気になるのは困りものである。

学生時代、必要な専門誌は心理学教室の資料室にほとんどそろっていたが、あるときかなり古い雑誌論文が必要になった。さすがに近隣には所蔵されていないので、大学本部の図書館に取り寄せを依頼した。しばらくして旧ソ連のレーニン図書館からマイクロフィルムが届いた。フィルムは無残に2つ折りにされ、粗末な封筒に入っていたが、遠路

はるばる送られてきたと思うと感慨深かった。

国立国会図書館にも文献を探しに出かけたことがある。しかし、閉架式で手元に届くまでずいぶん待たされたあげく、なぜか必要な巻だけがなかった。その後まもなく、京大教育学部の研究紀要だったせいか、母校の教育学部の学生読書室にあることがわかり、灯台下暗しであった。

現代の私たちは、居ながらにして文献をPCから直接ダウンロードすることができるようになり、文献探しに奔走することはなくなった。確かに利便性は大いに増したが、その結果、研究の質は格段に向上したのだろうか。

母校の旧図書館は外壁に蔦の絡まる古風な建物であった。閲覧室の天井は高く、大きな扇風機がゆっくりと回っていた。日曜日にも司法試験の受験生のために開館されていたので、静寂の中に緊張感が漂っていた。図書館は蔵書の他にもそれぞれ個性を持ち、独自の雰囲気醸し出している。それは実際に身を置かなければ体験できないのである。多くのみなさんに図書館に足を運んでいただきたいものだ。

学長 特別講義



毎年、後期水曜日の1限には、1年生の必修選択科目の総合講座(1)～(5)が置かれ、1年生はこの中からひとつ選択することになっています。(1)～(5)のいずれをとっても、第2回は「川村文子先生の生涯と学園創設」、第3回は「川村文子先生の思想と教育理念」について学ぶ合同講義です。

本年度は、これに先立って、川村正澄学長による特別講義、「川村文子先生の学園創立への想い」と題しておこなわれました。1年生が全員参加したのはもちろん、日ごろ学長の警咳に接することのできない教員・職員も多数参加し、14号館大教室は立ち見ができるほどの盛況となりました。なお、学長先生の講義内容は、大学創立25年史に掲載が予定されています。

公開講座レポート



平成25年度 公開講座 東と西の物語 第1回『港が語る東と西の物語』 生井澤 幸子

あいにくの小雨模様の日でしたが、100人を越える出席者のもと、次々に質問が飛び交い、学会発表の時のような気分を味わいました。そもそも発表者の研究テーマ(ドイツのコンテナ港湾をめぐる連邦・連邦州・都市間の連携と競合)が多くの方々の興味や関心を引くものではないことに加え、研究成果の一部を今回の共通テーマと強引に結び付けて語るという内容のものでしたから、開始前には大変緊張いたしました。

熱心に聞き入って下さいました参加者の皆様の声援のおかげで、途中からは、開始前の不安はなくなり、話に熱中することができました。そのことを深く感謝いたしております。

私の研究テーマと関係が深い世界でお仕事をされている、あるいはされていた方々の質問には、啓発されることも多々あり、質疑応答が一番楽しくて、有意義な時間であったことを、参加して下さいました方々にお伝えできれば幸いです。

公開講座が10月5・12・19・26日(土)に行われました。
全ての講座で出席者が80名を超えました。なかには130名を超える出席者の講座もありました。年々申込者も増えていきます。学園祭と同時に開催されている講座もありますので、機会があればぜひ受講してください。
以下は公開講座の感想です。(丸数字は講座番号です)

- ①・日本の港の現状と問題点が少し理解できた
・港湾についてあまり知識がないので、大変参考になった
・普段は聞けないお話で、興味深く拝聴できました
- ②・オペラのおもしろみが少し判りました。
・経験豊かな二人の演奏・実演も入った講座を楽しく受講できました
・生演奏と映像というのが大変良かった
- ③・和辻哲郎のことが良くわかった
・和辻哲郎の本を購入して読みたいになりました
・説明がわかりやすく、的確で共感できた
- ④・大変興味深い内容で楽しく受講できました。
・その当時の日本社会の雰囲気を感じることができた
・幕末時の日本の口語がわかり興味深かった
- ⑤・日本画について知らないことが多かったのとでも勉強になった
・絵の具の原料を拝見でき、絵の具を作るのは大変なんだと思いました
・絵の具から絵をとらえることは初めてで、おもしろかった
- ⑥・今までのアレクサンドロス像と違う見方の話は面白かった
・アレクサンドロスをどのように見るかについて参考になった
・当時のことがわかり参考になった
- ⑦・詳細な説明と論理的な説明で分かりやすかった
・違いがあることを認識していなかったため、目から鱗が落ちました
・日本人の本質をあらためて考えさせられました
- ⑧・ヨーロッパの歴史について良くわからなかったため、大変勉強になりました
・中世ヨーロッパの歴史の断片が理解できました
・昔のヨーロッパもずいぶん戦が多く複雑な時代だったことを感じる

川村学園女子大学同窓会



ご挨拶

平成25年11月23日に発足いたしました、川村学園女子大学同窓会の支部長を務めることになりました菊池百理子と申します。大役に身が引き締まる思いしております。

母校川村学園女子大学は今年創立25周年を迎え、毎年多くの卒業生を社会に送り出す総合大学として、さらなる発展をとげようとしております。川村学園同窓会熊谷園子会長のもと、本同窓会が卒業生相互の交流、親睦の場としてだけでなく、卒業生と大学・在学生をつなぐパイプ役として、共に発展していける場でありたいと考えております。

近年、女性の生き方は多様化しています。同窓の皆様を経験をどうかお聞かせください。そして、ぜひ同窓会の活動にご参加いただき、皆様とともに社会の多様性、必要性に対応できる組織にしていきたいと思います。ご支援をよろしくお願い申し上げます。

母校そして皆様のさらなるご発展をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成25年11月
川村学園女子大学同窓会 支部長 菊池百理子 (史学科2期生)

BOOKS

今関 敏子 著 (日本文化学科 教授)
『実朝の歌 金槐和歌集訳注』
●2013年6月発行
●青簡舎



今関 敏子 著 (日本文化学科 教授)
『仮名日記文学論 王朝女性たちの時空と自我・その表象』
●2013年10月発行
●笠間書院



栄養士のための白熱教室

生活文化学科では、食生活を通して社会に貢献できる栄養士を目指し、さまざまな機会に補習を行ってまいりました。これをさらに充実したものにすため、「栄養士のための白熱教室」を開催し、前期は試験終了後の8月5日、6日の2日間、1時間目から4時間目まで、猛暑の中を2年生から4年生が参加しました。栄養士実力認定試験の問題を中心に、科目の復習やブラッシュ・アップ、さらには就職試験、管理栄養士国家試験の受験を想定した授業は、まさに白熱教室さながらで、学生たちの勉学意欲は素晴らしいものでした。



第25回 鶴雅祭を終えて…

鶴雅祭レポート

学園祭実行委員長
教育学部幼児教育学科3年 新明 真織

10月26日、27日、鶴雅祭を開催いたしました。台風接近のため、思ったように準備が進まず、また、中止も危惧される中での無事の開催となりました。今年のテーマは、『KM Revolution』ということで、実行委員会の運営方法を大きく変え、より学生中心の学園祭を目指しました。また、新しい挑戦をし、会場の雰囲気作りにこだわり、1年を通して準備を進めました。



26日は雨が降ってしまいましたが、27日は晴天に恵まれ、たくさんの方にご来場頂きました。たくさんの温かいお言葉や笑顔に元気をもらい、共に頑張ってきた実行委員のメンバーに助けられ、皆様にお力添え頂き、大成功という形で締めくくることができました。ご参加、ご来場頂いた皆様に心から楽しんで頂けていたら、光栄に思います。

最後になりますが、実行委員を代表し、鶴雅祭を成功へと導いてくださった皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

文学部

●国際英語学科

10月26日に第18回レシテーション&スピーチコンテストを開きました。1年生7名がレシテーション(暗唱)コンテストに、1・2年生5名がスピーチコンテストに参加しました。参加者は皆、最初は緊張気味でしたが、壇上では堂々と流ちょうな英語を話し、会場を魅了していました。台湾からの留学生も参加して、活気あるコンテストになりました。



●史学科

史学科は、3年生を中心に洋風のカフェを出店し、アイスを添えたパンケーキを販売しました。特にキャラメルシロップが人気で好評でした! 学園祭前は悩むことも多く無事に学園祭を迎えることが出来るのかとても不安でしたが、当日はチームワークがとてもよくお越しいただいた方々に温かいパンケーキをお出しすることが出来ました。



●日本文化学科

今年の鶴雅祭は台風の影響で、直前までハラハラさせられました。無事に終わることが出来てほっとしました。例年恒例の1年生による和風喫茶「月うさぎ」では、全員浴衣を着ての接待、お陰様で和菓子も完売し、多くの方々に楽しんでいただけました。日舞の発表ではステージで「藤娘」を披露いたしました。沢山の拍手を頂き、在校生を始め、保護者の方々にも、受験生にも、日本文化学科の魅力を感じ取って頂けて感謝しています。



●心理学科

心理学科では、学科企画として学科の紹介展示、箱庭療法の体験コーナー、卒業生と語る会、そして焼き鳥の販売がおこなわれました。学科紹介展示では、各ゼミの紹介とともに、箱庭療法に加えてコラージュなどを交えて心理学の紹介がおこなわれました。卒業生と語る会では四人の卒業生を招いて、就職活動や近況について、体験にもとづいたお話をうかがうことができました。



教育学部

●幼児教育学科

音楽教科では「ジャックと豆の木」「ディズニーメロディー」「子ども歌の絵本」及びピアノの連弾による「森の小さなコンサート」。体育bcでは振り付け・音楽・衣装などを考えた「創作ダンス」。言語表現技術では有志「Pokke」がパネルシアター「ノントンブランコ乗せて」・エプロンシアター「飛んでいった麦わら帽子」。図画工作は「スクラッチ遊び」。ボランティア団体ONEは「世界旅行へ出発だ!」をテーマとしました。それぞれの演目は意欲的に盛り上げた発表となりました。



●社会教育学科

社会教育学科では、「読書のすすめ」をテーマに、お薦めの本の展示や読書体験、お話し会などを開催いたしました。当日は、多くの方が来て下さり、デジタル化が進んだ昨今でも、「本」に対する関心が強いことを再認識させて戴きました。また、朝比奈ゼミでは、学内にある身近な自然をテーマに「かわむらフォレスト」と題して展示を行いました。学内にある、四葉のクローバーやクワガタ虫を中心に展示し、こちら子どもから年配の方まで、幅広い年齢層の方に楽しんで戴きました。



●児童教育学科

恒例の1年生全員参加による劇の上演、今年は「白雪姫」でした。劇中で小びとレンジャーが使っていた輝く剣が子どもたちに人気で、お土産に貰って嬉しそうでした! 魚釣りやバルーンやぬり絵、そして駄菓子などもあり、たくさんの方が来場して下さいました。



生活創造学部

●生活文化学科

生活文化学科ではパネル展「世界の飢餓を救え! 国連WFPの活動」を行いました。世界では8人に1人、数にして8億7千万人が飢えており、その現状を学ぶことができました。さらに、学校給食支援の象徴である「赤いカップ」も見ることができました。毎年人気の鶏の照り焼き丼、シフォンケーキに、今年はけんちん汁が加わりました。お昼過ぎには完売し、大変好評をいただきました。



パネル展「世界の飢餓を救え! 国連WFPの活動」と赤いカップ



鶏の照り焼き丼などの模擬店

●観光文化学科

観光文化学科では「観光文化学科14年のあゆみ」というテーマで、これまでの見学会やゼミ旅行を中心に学科での活動を写真展示で紹介しました。また「我孫子と観光」というテーマで、ゼミの研究発表の展示を行いました。屋外では、模擬店でじゃがバターとマンゴードリンクの販売を行い、たくさんのお客様に来ていただきました。



鶴雅祭 クラブレポート

●美術部

私たち美術部は、鶴雅祭では「宝石」をモチーフにした作品と自由作品の二種類の展示をしました。「宝石」モチーフの作品は、各部門が好きな宝石を選び、その宝石のイメージや宝石言葉の意味などを表現したものです。それぞれ、油彩や水彩、アクリル絵具、パステル、ガラスアートなど様々な画材・手法で作品を仕上げ、展示しました。今年度は初めて4号館での展示となり少し戸惑うこともありましたが、皆で協力し合って準備し、良い展示会にすることが出来ました。販売した展示作品のポストカードも好評で良かったです。



●Hoku Party

今回のダンス公演では、一部の衣装を自分たちで作ったり構成にもこだわり、2日共たくさんのお客さんに観に来ていただけました。また、間に抽選会を挟むなど初めてのことに挑戦し盛り上がりも見せました。また、お客さんから「ダンスをやりたくなった。」と最高の褒め言葉ももらい、メンバーも大満足です。4年生にとっては大学生活最後のステージを、無事に終えることができよかったです。これから交代代し、新しいHOKU PARTYとなります。今後のダンスステージをお楽しみに!



文学部

第15回 国際交流スピーチ大会に参加して

国際英語学科 3年 近藤 かの子

私は9月29日に行われた我孫子市の国際交流スピーチ大会に参加しました。当大会では今年3月に行ったニュージーランドでの体験を発表し、会場審査員賞をいただきました。外国人が話す日本語のスピーチも聞くことができ、とても良い経験でした。



日本文化学科

本年度、本学科では「日本文学検定」試験を導入し、6名の学生が合格しました。今回は初めての試みで、傾向を掴めなかったため少人数でしたが、教員資格にも役立つので、追々合格者数も増えて行くはずですよ。



教育学部

「ボランティアを通して」

児童教育学科
3年 曾我部 那奈

私は、社会福祉施設と特別支援学校の2か所でボランティア活動をさせていただいています。

社会福祉施設では、子どもたちと一緒に遊んだり、紙芝居をしたりして、子どもたちと触れ合うことで、言葉かけや接し方を学び、日々新しい発見をしています。特別支援学校では子どもたちにダンスを教えています。一緒に振付を憶えて楽しんだり、子どもたちの体調や状態に合わせて声かけをするなど、難しいこともありますが、遣り甲斐を感じていますし、教師を目指す私にとって大切なことを学ばせて頂いていると感じています。なるべく多くの子どもたちと接する機会を持ち、経験を積み、将来は子どもたちの笑顔を引き出せる先生になりたいと思います。



社会教育学科 1年 千葉 恵

「パッサ 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番ニ短調」私がいちばん好きな曲です。目標とするViolinist、メニューインの演奏を聴いてパッサが好きになりました。2歳から始めたヴァイオリンの魅力は、音色が豊かなところですよ。11月23日には、オリンピックセンターで開かれた森田先生のバレエの発表会に於いて、伴奏する機会を戴きました。

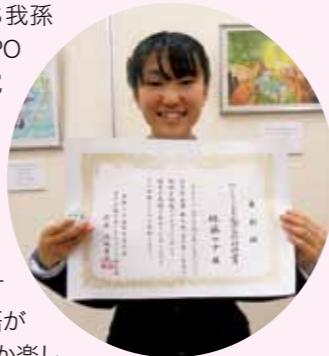
これからも、生涯学習のひとつとして、ずっと弾き続けていきたいです。



輝いている学生たち

国際英語学科 2年 佐藤 マナ

私は「鳥と楽しむまち我孫子絵画コンテスト」(NPO 住み良いまちづくり研究所主催)において145点の作品の中からワシントンDC近代美術研修賞に選ばれました。来年の春休みにはワシントンへ一週間ホームステイする予定です。自分の英語が本場でどれくらい通じるか楽しみです。また、ワシントンの街並みや美術館で有名な絵画等、美術作品をたくさん鑑賞してきました。



心理学科
3年 阿部 珠実

2013年夏、東京都江戸川区主催の国際交流事業「青少年の翼」の随員員に選ばれ、中高生20名と共に英国に行ってきました。

現地では、学校訪問や英語研修を通し国際人としての感覚を培ってきました。



生活創造学部

生活文化学科 3年 大木せりか

私は3歳の頃から書道を習っています。今年、日本最大といわれる毎日書道展という大会で、かな部奨励賞という賞をいただきました。全国レベルまで達する実力を身につけられたこと、とても嬉しく思います。作品作りに取りかかるにあたって、失敗をすることはいけないという恐怖感に押しつぶされて投げ出すことも考えましたが、努力することで必ず結果が着いてくると信じて頑張りました。このような素晴らしい賞をいただいたことは、私の誇りです。今後も精進し、良い作品を残していきたいです。



大学院

大学院 心理学専攻 2年 遠藤 むつみ

昨年4月より数十年ぶりに学生生活に戻り、知らないことを知るという学びの楽しさを改めて痛感しております。実は、30年程小学校の教諭として子どもと関わってきました。仕事は充実し、やりがいもあったのですが、子どもの心や親の心をもっと深く理解したいとの思いから院への入学を希望しました。

昨年1年間の基礎・基本の学習でたくさんの知識を得、今までと異なる視点での認知や思考をするようになったと思っております。社会人から学生へは大きなハードルでしたが、経験があるが故に本当に身につく学習になっていると感じております。



クラブ活動報告

写真同好会

写真を撮るって個人プレイでしょ？と思われる方もいると思います。確かに、そのとおりですが、その写真を素敵な作品に仕上げるには、部員1人ひとりのアイデアと団結力が必要です。2012年4月に結成されたサークルですが、現在18人に増え、先輩後輩の上下関係がなく、意見を出し合っています。月刊新聞、展示を中心に活動を行っていますが、昨年从我孫子聖仁会病院緩和ケア病棟で写真を展示し、今年はあびこカッパまつりに参加できました。初の試みでしたが、楽しく、多くの人々の笑顔やがんばりを撮影することに成功しました。



我孫子聖仁会病院緩和ケア病棟での写真の展示と、あびこカッパまつりでの活動の様子

サイクリングサークル

私たちサイクリングサークルは月に1回スポーツサイクルでサイクリングに行こう、を活動目標に今年設立したクラブです。設立したばかりのクラブですが、縁あってイオンバイク株式会社様との産学協同企画ということで、先日【AEONBIKEエンデューロ2013】にAEONBIKEのロゴを付けて参加させていただきました。こちらの大会はスポーツサイクルで周回コースを時間内に何周できるかを競うもので、チーム皆で完走できたことはとても良い思い出になりました。こういった活動やスポーツサイクルに興味のある方がいらっしやいましたらぜひ1度お越しください。

